



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 泌尿器科 新保 正貴

# 前立腺肥大症レーザー治療がロボット支援前立腺手術に 与える影響についての研究

## 1.研究の対象

2011年9月～2023年12月までに当院で前立腺癌と診断され、ロボット支援前立腺全摘除術を受けられた方

## 2.研究の目的・方法

前立腺肥大症に対するホルミウム前立腺レーザー手術（HoLEP：ホーレップと言います）は前立腺腫大腺腫を確実に核出することから、確実な前立腺肥大症の外科的療法として確立してきました。一方で、核出前立腺の病理組織で悪性度が高い前立腺癌を認めた場合や、経過中に癌の発生が確認された場合は、前立腺局所治療が適応となり、前立腺全摘除術が代表的な治療方法の一つとなります。

しかし、前立腺形態が変化すること、前立腺レーザー治療術後の周囲への癒着から手術が難しいとされてきましたが、近年普及したロボット支援前立腺全摘除術（RARPと言います）では、従来の開腹手術では難しいとされてきた症例も対処可能となってきました。しかし、レーザー治療術後の経過についての報告は多くありません。

本研究では、前立腺レーザー治療後に施行されたロボット支援手術全般の腫瘍学的結果、排尿状態の状況とともに、前立腺レーザー治療がロボット支援手術にどのように直接影響するか、どのように対処すれば良いかについて検討します。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年3月18日を予定しております。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》年齢、ID、身長、体重、既往歴、前立腺癌の状態、前立腺の大きさ、HoLEP 施行時の前立腺の状態、核出重量、尿漏れの状態、ロボット支援前立腺全摘除術術中の癒着の程度・部位、手術時間 等